



2014年9月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

「G空間未来デザイン」プロジェクトを産官学連携で開始 ～地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いた アイデアソン、ハッカソン、マーケソン～

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（以下、慶應SDM）（1）は、株式会社フューチャーセッションズ（2）および国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（3）と連携し、「G空間未来デザイン」プロジェクトを開始しました。このプロジェクトでは地理空間オープンデータ（4）を用いたアイデアソン、ハッカソン、マーケソン（5）を実施し、地域の課題解決や魅力向上に向けた革新的なサービス創出のための仕組みを構築します。国土交通省事業の一環として行い、今年度は、川崎市と連携し、初回のアイデアソンを10月27日（月）に川崎市宮前区役所にて開催します。また、ハッカソンおよびマーケソンは、12月および1月に開催予定です。イベント欄へのご掲載およびご取材のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

1. プロジェクトの概要・特徴

本プロジェクトは、「地域の課題解決や魅力向上のためのアイデアを参加者の集合知によって導きだし、地理空間オープンデータを活用してアイデアを具現化することで未来社会をデザインし、今後生じる様々な課題に創造的に立ち向かうこと」を目的とし、慶應SDMで教育・研究を行っているシステム思考、デザイン思考をベースにアイデアソン、ハッカソン、マーケソンでの革新的なサービス創出のための仕組みやプロセス、手法を構築します。特徴は、以下の通りです。

A. プロセスや手法の構築：地域住民、民間企業、国・地方公共団体、学術機関などからの多様な参加者が共にアイデアや技術、ノウハウを出し合うことで、地域課題解決のためのコミュニティが形成され、革新的なサービスが創出されるまでのプロセスや手法を構築します。

B. 地理空間オープンデータの活用：国・地方公共団体がより効果的、効率的に公共サービスを提供したり、民間企業が新たなサービスを創出しやすくしたりすることを目指して、地理空間情報はじめとする様々なオープンデータを積極的に活用します。

C. マーケソンの実施：既に様々な取組みのあるアイデアソン、ハッカソンに加え、ハッカソンなどで創出された成果を持続的なサービスとして運用、普及させるために、実際の利用者の需要に合わせた改善や、普及のための戦略立案など目的とした「マーケソン（マーケティング×マラソン）」を新たに設計し、開催し、有効性を検証します。

D. プラットフォームの提供：アイデアソンからマーケソンまでの全体プロセスを通じて、コミュニティ形成・維持支援、サービス開発支援、情報配信など、参加者による自律的、持続的なサービス創出のための活動を支援するプラットフォームを構築し、提供します。



地理空間オープンデータを用いたアイデアソン・ハッカソン・マーケソン（イメージ）

2. アイデアソンの開催概要

タイトル：G 空間未来デザイン

～地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いたアイデアソン～

日時：2014年10月27日(月)13:00～18:00

場所：宮前区役所会議室(東急田園都市線「宮前平駅」から徒歩8分)

<http://www.city.kawasaki.jp/miyamae/page/0000029061.html>

テーマ：「A:出掛けたくなる、みんなで健康になる街」「B:地域資源の戦略的活用ができる街」

急速かつ大規模に進む高齢化と公共施設・社会インフラの老朽化という2つの“老い”。

テーマAでは、高齢者などが活躍する場づくりや多世代交流を通じて、長寿なまちづくりを進めるためのアイデア、テーマBでは、施設・インフラなどを地域の資源として効果的・効率的に活用し、街の魅力を高めていくためのアイデアの創出に挑戦します。

募集人数：80名

参加方法：プロジェクト専用ウェブサイトより申し込み(9月30日～10月15日)

(応募者多数の場合は抽選となります。当選者には事務局よりメールでご連絡します)

申込先：プロジェクト専用サイト

URL：<http://keiosdm.main.jp/gfdesign/>

<http://www.gfuturedesign.org/>(近日公開予定)

同日開催：宮前区フィールドワーク(任意参加)

なお、アイデアソンの開催に先立ち、宮前区の特徴や課題を知り、体感頂くことを目的としたフィールドワークを以下の要領で同日の午前中に開催します。具体的には、貸切バスに乗車頂き、区内数カ所を見学頂く予定です。昼食は宮前区内の市場で、各自お取りいただきます。

日時：2014年10月27日(月)午前中

参加方法：事前に申し込んで頂く必要があるため、アイデアソンの参加申し込み時に、フィールドワーク希望の有無、昼食の要否をご記入下さい。

集合場所：事務局より申し込み頂いた方に別途ご連絡します。

1 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 (<http://www.sdm.keio.ac.jp/>)

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科は、慶應義塾創立150年記念事業の一環として2008年4月1日に開設された独立研究科です。最新のテクノロジーが集積された技術システムから、組織やコミュニティのような社会システムまで、現代のあらゆる「システム」のデザイン・マネジメントを教育・研究対象に開設された世界で初めての大学院です。新しい複合領域でリーダーとして活躍する人材の養成を目的とした斬新なカリキュラムは、国内外から注目されています。

2 株式会社フューチャーセッションズ (<http://www.futuresessions.com/>)

フューチャーセッションズは企業、行政、NPOのセクターを越えて、ともに社会価値を生み出すイノベーション・プラットフォームを提供しています。フューチャーセッションという対話と協業の新しい枠組みとファシリテーションの力を用いて、企業の新規事業創造プロジェクト、行政の対話プラットフォーム構築プロジェクト、NPO/自治体の市民参加型まちづくりプロジェクトなどを推進しています。

3 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(<http://www.glocom.ac.jp/>)

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) は、1991年に設立された国際大学 (IUJ) 付属の研究所です。設立以来、学際的日本研究や、情報通信技術の発展と普及に根ざした情報社会の研究と実践を活動の中心におき、産官学民の結節の場として、常に新しい社会動向に関する先端研究所であることを目指しています。

4 地理空間オープンデータ

日常生活や経済活動に欠かせない位置や時間に関連する情報を「G空間情報」または「地理空間情報」と呼びます。また、何らかの権利に基づく制限を課されることなく、誰でも自由に入手、加工、利用、再配布などを行うことができるよう公開されたデータを「オープンデータ」と呼びます。地理空間情報をオープンデータとして整備、公開することで、まちづくりや防災、ビジネス、インターネットサービスへの幅広い利活用が見込まれています。

5 アイデアソン、ハッカソン、マーケソン

アイデアソンとは、アイデア (Idea) とマラソン (Marathon) を合わせた造語で、特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合う参加型のイベントです。ハッカソンはハック (Hack) とマラソンを合わせた造語で、IT技術者やデザイナーなどが特定のテーマに沿ってアプリケーションやサービスを開発するイベントです。マーケソンはマーケティング (Marketing) とマラソンを合わせた、本プロジェクトオリジナルの造語です。ハッカソンで生み出されたアプリケーションの実際の利用者の需要に合わせた改善や、普及のための戦略立案などを行います。

*ハッカソンおよびマーケソンは12月および1月に開催予定です。

*なお、開発環境は株式会社 IDC フロンティア (ヤフー株式会社のグループ企業) より提供いただく予定です。

ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部等に送信させていただいております。

本研究内容のお問い合わせ先

慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科准教授 神武直彦

TEL : 045-564-2518 FAX : 045-562-3502 Email : sdm@info.keio.ac.jp

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 (中島)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640 Email : m-koho@adst.keio.ac.jp